



総会では、最初に小出会長が挨拶に立ち、県高P連の諸活動に対する県教育委員会並びに会員各位のご尽力に対し、深い敬意と感謝の気持ちを述べたあと、昨年十一月に「優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞された三養基高校PTAの快挙と、今年度より佐高P連に加盟された中原特別支援学校PTAについて紹介された。続けて、四月発行の全高P連会報「七五号」に掲載された、教師の暴力に対する全国の母親の気持ちを代弁したと思われる、全高P連会長相川順子氏の記事「つづき」と、聯合艦隊司令官山本五十六氏の「やって見せ、言ってみせて」をみて、褒めてやらねば人は動かじ」という、教育の基本ともいえる有名な言葉を紹介した。その後、中島秀明副教育長による来賓祝辞に続いて、功労者表彰、感謝状贈呈を行い、議事に入った。

通常総会

会長に小出邦彦氏を再任

佐賀県高等学校PTA連合会は、六月四日(火)、佐賀市天神の「グランデはぐくれ」で平成二十五年度「通常総会」を会員各位の出席のもと、来賓に佐賀県教育委員会副教育長・中島秀明様をはじめ、教育庁各課の課長様方をお迎えして開催した。

総会では平成二十四年度の事業、決算・監査報告の後、役員改選を行い、小出邦彦会長（佐賀商業高校後援会会長）を再任した。その後、平成二十五年度の事業計画案、会計予算案などを協議し、提案どおり可決した。「研修」では、熊本県の学校法人九州ルーテル学院 九州ルーテル学院大学 客員教授大畑誠也先生による、「二十一世紀の能力×悪戦苦闘能力を身に付けよう」と題した講話が行われ、大畑先生の元気のよい巧みな話術に引き込まれ、研鑽を積んだ。

佐賀県高等学校 P T A 新聞

発行 佐賀県高等学校PTA連合会
佐賀市成草町 7 - 29
電話 0952(29)2573
FAX 0952(26)5435
印刷 大同印刷株式会社

議事

一 平成二十四年度事業並びに決算・監査報告
事業及び会務報告の後、決算・監査の報告を行う。

収入 一三五万三二五九円
支出 一一三万七二八六円
差引 二二万四〇八七三円
(次年度へ繰越)

二 役員改選

会長に小出邦彦氏を再任。副会長、理事、監事共に左表のとおり承認された。

三 平成二十五年度事業計画案・予算案審議
事業について、県高P連独自の事業は例年並みで、主な事業計画は次のとおりである。

① 通常総会
「グランデはぐくれ」
六月四日(火)

② 第五十七回九高P連大会
「宮崎大会」シーガイアコンベンションセンターほか
六月二十日(木)・二十一日(金)

③ 第六十三回全高P連大会
「山口大会」山口県スポーツ文化センターほか
八月二十一日(木)
・二十二日(木)

④ 地区別指導者研修会
▽鹿藤地区 十月五日(土)



旧役員退任あいさつ

平成二十五年度 役員の皆さん

会長		副会長		理事		監事		顧問	
小出 邦彦	佐賀商業 会長	岸川 正人	佐賀西 会長	木原 秀憲	太良 会長	上田 雄一	佐賀女子 会長	宮本 幸治	(佐高P連前会長)
古財 政成	鳥栖 会長	伊東 猛彦	致遠館 会長	古藤 良子	唐津商業 会長	久保 隆慶	佐賀東 会長	野口 俊彦	佐賀農 会長
平松 宏	唐津東 会長	久保田雅敏	有田工 会長	辻 裕一	佐賀清和 会長	井上 常茂	佐賀商業 会長	岡 真理	厳木 会長
久保田雅敏	有田工 会長	木原 秀憲	太良 会長	内山 隆文	鳥栖 会長	丹宗 成一	致遠館 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長
糸山 美和	致遠館 会長	深川 直人	高志館 会長	白水 敏光	唐津東 会長	牟田 久俊	有田工 会長	山田 毅	鳥栖工 会長
古財 政成	鳥栖 会長	伊東 猛彦	致遠館 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長
伊東 猛彦	致遠館 会長	小出 邦彦	佐賀商業 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長
小出 邦彦	佐賀商業 会長	平松 宏	唐津東 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長
久保田雅敏	有田工 会長	久保田雅敏	有田工 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長
西 昭文	白石 会長	西 昭文	白石 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長	山口 孝太	鳥栖工 会長



大畑誠也先生

春の力

パソコンや安価な市販プリンターが普及し始めた頃から、名刺を自作するようになり、ここ数年は生徒達が栽培した草花や作物の写真を刷り込んでいます。人により程度の差はありますが、名刺の写真に反応していただくことで初対面でもよりスムーズにコミュニケーションがとれるようになりました。農業系高校生の学習内容を紹介し、存在感をアピールするいい機会となっています。

自宅では、狭い庭を区切って小さな畑を作り、多種少量の作物を育てていますが、キュウリやトマト、オクラ、桃、無花果などもぎたての野菜や果物が食卓にぎわしてくれ、手間暇をかけた作物は育ちませんが、かけたからといって必ずしも満足のいく収穫ができるとは限りません。水や肥料は必要ですが、与える量や時期を誤れば、収穫どころか成長もおぼつきません。収穫の喜びを体感するためには常に心しておかなくてはならない農業の基礎基本は、人づくりに通ずるということでしょうか。

子育てや教育の原点を垣間見るような気がします。生徒達は毎日農業実習に汗だくで取り組んでいますが、将来農業に係る仕事に従事する者、そうでない者それぞれ、道の選択することになります。いずれにしても感性を磨いて自然の摂理を実感し、畏敬の念や感謝の思いを心から自覚したときこそ生きる力を身に付けることができる、と言えるのかもしれません。

高志館高等学校
校長 深川 直人

鳥栖定時	三養基	神崎	佐賀東	嚴木	武雄	佐賀農業	鳥栖工業	鳥栖工業	鳥栖工業	佐賀工業	唐津工業	有田工業	唐津商業	伊万里商業	鹿島実業	金立特別支援	大和特別支援	伊万里特別支援	弘学館	感謝状贈呈	佐賀東	伊万里	嬉野	鳥栖商業	嬉野	有田工業	清和	致遠館	鳥栖商業	佐賀女子	唐津東	伊万里	鳥栖	唐津南	武雄
高尾浩伸	中野久雄	弓博文	平島和則	小林佳樹	松本浩一郎	加藤清美	松尾茂昭	有馬国昭	松尾正夫	中野義照	中野剛	藤本安彦	進藤紀雄	山田正弘	稻葉準三	福井和美	中尾まゆみ	赤瀬満博	小林和子	行武静一	小林佳樹	久我剛毅	坂本兼吾	佐藤龍二	森山亨	藤本安彦	島内利昭	古川伊佐夫	西牟田明德	久保田昭	阿比留修	椿忠彦	高尾浩伸	山本文彦	加藤清美

飛べ!!

全国へ、そして世界へ。

鳥栖高等学校体操競技部

本校の体操競技部を紹介しま
す。今年度は三年生四名、二年
生四名、一年生二名の一〇名の
部員で活動しています。全国高
等学校総合体育大会において、



全国大会へは四十三年連続出場
し、九州大会では二十四回優勝
しているのははじめ、各大会に
おいて活躍しています。主将の
小島彩夏さんは、今年三月の全
国高校体操選抜大会において女
子個人種目別跳馬で全国優勝を
果たしました。しかし、七月二
十八日から佐賀市で行われた北
部九州総体では、女子団体十二
位と、二年連続の全国の表彰台
へは届きませんでした。

校舎の一角にある体操場では、
北部九州総体翌日も、すでに国
体に向けて緊張感のある意識の
高い練習が行われていました。
小島さんは「どのような状況で
も自分の演技ができる精神的な
強さを身につけたい」と、次の



大会へ向けての目標を語って
くれました。歴史と伝統を作り
続けてきた卒業生の姿もそこ
にあります。そして、怪我で
各試合を欠場している絶対的エ
ースの龍和貴子さんの姿もあり
ます。選手たちが見つめる視線
はすでに次の試合へ、そして着
地点はさらに遠くを見つめてい
ます。

全国へ、そして世界へ。

米国高校生と学校交流を
行いました。

致遠館高等学校

致遠館高校で七月十九日に米
国ジョージア州リバーウッド高
校の生徒十六名と剣道や書道、
交流会を通して学校交流を行
いました。



歓迎式では、両校の代表が互

いの国の言葉で、感謝や歓迎の
挨拶を行い、その後、早速交流
を開始。

部活動体験では、猛暑の中、
米国高校生も剣道着を着けて素
振りや面打ちなど剣道部員の指
導のもと体験。武道の精神に触
れました。また、書道では、書
道部員と、風鈴の短冊づくり
に挑戦。短冊に好きな日本語を
一筆書いてもらいました。

最後の交流会では、互いの学
校や郷土の紹介、折り紙を通じ
た交流を実施。また、本校生徒
による大道芸の「南京玉すだれ」
を披露しました。

それぞれの場面で交流してい
る生徒から、日頃学んでいる英
語と全身を使って、一生懸命コ
ミュニケーションをとろうとす

さまざまな体験的な学習

太良高等学校

太良高校で行っている数多く
の体験的な学習を紹介します。
一年次には、自分の未来を支
えるキャリア教育として、さま
ざまな体験を通じて豊かな人間
性やコミュニケーション能力、
働くことの意義と勤労意欲を育
て、社会参加への関心を高める
ことを目的に、地域の事業所に
毎週出向き、三時間連続の体験



る姿が見られました。

生徒からは「自分の英語が通
じ、会話ができてうれしかった」
「もっともっと交流ができるよ
うにさらに英語の勉強を深めて
いきたい」など、今回の交流会
がとても刺激的で、もっと交流
したいという感想が多くありま
した。

交流会後、米国高校生は、本
校生徒宅に二泊ホームステイを
行い、佐賀の地を満喫しました。
なお、来年三月に、本校生徒
二十数名が米国に派遣され、交
流を行うことになっています。
それまでに日本や佐賀のことを
伝えることができるよう英語力
を身につけたいと張り切ってい
ます。

応募してみませんか!!

佐賀県

平成25年度 佐賀県読書チャレンジ運動

読書プロジェクト
募集中

優秀賞として
最高1万円の
図書カード
プレゼント

取組期間 2013.7.1(月) ▶ 2013.11.30(土)

① 取組前の『宣言』

② 取組後の『評価』

③ 応募用紙『提出』



取組前
宣言をすべて記入する!
家族とブザーをしよう!
など



取組後
取り組んだ結果を
書いて、どれだけ
できたか評価



提出期限
2013.12.4(木)

詳しくは、ホームページをご覧ください。
(応募用紙もダウンロードできます)

平成25年度 読書チャレンジ運動

検索

お問い合わせ先

佐賀県 文化・スポーツ部 まなび課 〒840-8570 佐賀市内 1-1-59
TEL 0952-25-7313 FAX 0952-25-7406 manabi@pref.saga.lg.jp

Copyright 2013 Sagat Prefecture. All Rights Reserved.



「体験学習」バラ園



「有明海学」干潟体験

学習を行っています。今年度は、
前期四グループ、後期四グルー
プに分かれ、柑橘農園やイチゴ
観光農園、ユリやバラなどの花
栽培農家、森林組合や漁業組合、
老人介護施設やグループホーム
で学習を行っています。「田中
バラ園」で花栽培を学習してい
る生徒たちは、ビニールハウス
内部の暑さや細かい栽培技術な
ど、目新しいことばかりで、毎

時間が発見の連続です。仕事の
大変さだけではなく、花のきれ
いさやはかなさを感じるなど充
実した体験学習を行っています。
体験学習の他にも、地元の方
である有明海について学び、干
潟体験や生物調査を行う「有明
海学」、古墳や旧街道沿いの歴
史的遺構の調査などを行う「郷
土学習」、学校菜園や花壇を作
って季節の野菜や花を育てる「栽
培体験」や「グリーンデザイン」
などさまざまな体験的な学習が
あります。

三年間のさまざまな体験的な
学習の中で、豊かな人間性を養



「体験学習」森林組合

お知らせ

九高P連大会「鹿児島大会」

期日 平成二十六年六月

会場 鹿児島市民文化ホール他

全高P連大会「福井大会」

期日 平成二十六年八月

会場 サンドーム福井他



夢から志へ
～たくましく生きるチカラを育むために、
今、私たちができること～

第六十三回
全高P連大会
山口大会は、
八月二十二日、
山口県スポーツ
文化セン
ター（アリー
ナ・レクチャ
ルーム）ほ
か
五つの会場に
約一万名の会
員を集め、山
口県スポーツ
文化センタ
ー（アリーナ）
の模様を他の
会場へ映像配
信するという
全体会で開幕。萩市立明倫小学
校児童による朗唱の後、一般社
団法人全国高等学校PTA連合
会相川順子会長の式辞、多々良
健司大会実行委員長による開会
の挨拶、文部科学大臣下村博文
氏、山口県知事山本繁太郎氏、
山口県議会議長柳居俊学氏等来
賓の祝辞、表彰式と続いた。
表彰式では最初に文部科学大

全国高P連大会
山口大会（八月二十一・二十二日）
「一七九名が参加！」



臣表彰が行われ、本県では北陵
高校後援会元会長の敷口正氏と
佐賀東高校後援会元会長の吉川
隆氏が、PTA活動振興功労者
表彰を受賞された。続いて行わ
れた全国大会会長表彰の優秀単
P表彰では、東明館中学校・高
等学校後援会と、多久高校教育
後援会が、また功労者表彰では
佐賀東高校後援会前会長の小林
佳樹氏と、有田工業高校保護者
後援会前会長の藤本安彦氏が受
賞された。

その後、「日本の教育の再生」
という演題で、下村博文文部科学
大臣による「基調講演」があった。
午後からは、各会場それぞれ
の講師による記念講演と分科
会が行われた。

最後に、開会式同様、山口県
スポーツ文化センター（アリー
ナ）の模様を他の会場へ映像配
信する形で閉会式が行われ、来
年度の開催県である福井県へ、
大会旗を引継いだ。

大会が一日開催であったこと
や、近県で開催されたこと等に
より、本県は前年度より三〇名
多い一七九名の参加であった。



九州地区高P連大会
あくがれて 来てみらんね みやざき大会
（六月二十・二十一日）

第1分科会
「笑顔を育むPTA活動」
～子ども達のために 私たちができること～
佐賀県立唐津商業高等学校教育振興会
会長 前田りつ子



学校の沿革
本校は、玄界灘に接する港町
として有名な佐賀県北部の唐津
市中心に位置し、さよ姫伝説の
残る鏡山や宝くじの当選祈願で
有名な高島を見下ろせる風光明

媚な学校です。大正六年に創立
し、大正、昭和、平成にわたつ
て九十四年間約一万七千名の優
秀な人材を地元唐津はもとより
全国に送り出しています。

「挑戦・誠実・品格」をスロー
ガンに資格取得と部活動に生徒、
先生方、保護者が一体となって
全力投球している学校です。

本校の特色（資格取得）
全日制には、県内で唯一、簿
記会計を専門的に学習する会計
科があり、難関とされる日商簿
記検定一級の合格や、毎年日商
簿記検定二級に全員合格するな
ど多くの実績を残しています。

商業科も日商販売士検定や経済
産業省ITパスポート試験、基
本情報技術者試験等に多くの合
格者を出しています。また、生
徒の約半数が全商検定で三種目
以上一級を取得するなど、生徒
全員が資格取得に向けて熱心に
学習に取り組んでいます。

部活動
部活動においても、一昨年は
野球部の夏の甲子園大会出場を
はじめ、ボート部が国体で入賞、
陸上部、水泳部、弓道部、ソフ
トテニス部など多くの部が全国
総体・国体等で活躍しています。
文化系部活動についても、簿記
部、情報処理部、書道部をはじ
め、多くの部が全国大会・九州
大会で活躍しています。

「からつ学美舎」
平成二十一年にオープンした、
唐津商業生が運営するインター
ネット上のショッピングモール
です。地元の企業を中心に約三
十社が加入し、これまでの総売
り上げは一億円に近づこうとし
ています。社長から営業社員ま
で本物の会社と同様に運営をし



「からつ学美舎」

ており、名刺を持って営業にで
かけたり、オリジナル商品の開
発や街頭販売を行うなど商業高
校で学んだ知識を実践を通して
学習することで、生徒の職業観
の確立やビジネスマナーの向上
はもちろん、進路先の企業や大
学などからも高い評価を得てい
ます。



「バザー」

国際交流
昨年7月には、商業高校のハ
ングルを選択している生徒が韓
国を訪問していたので、十一月
に麗水情報科学高校が本校へ来
校され、授業体験や昼食交流な
どが行われました。韓国舞踊を
見たり直接話したりすることで、
子どもたちは韓国を身近に感じ
ることができたようです。今後
も姉妹校締結に向けてさらに交
流を深めていく予定です。

教育振興会の活動
五月には教育振興会総会、九
月には生徒会最大のイベントで

最後に
私達、唐津商業高校教育振興
会は年間様々な活動を行ってい
ます。常に「子ども達の笑顔の
ために私達に何ができるのか」
また「いつも見守っていますよ。
応援していますよ。」のメッセー
ジが少しでも子ども達の心に届
くように」を念頭においていま
す。高校生は多感な時期であり、
親子間のトラブルも少なくあり
ません。また、個々の家庭で
様々な事情を抱えている子ども
達もたくさんいます。しかし、
私達保護者が教育振興会という
組織全体の中で子ども達を見守
り、様々な行事を通じてコミュニ
ケーションを深めることで、
子ども達を良い方向に導き、親
子の絆も深めることができるの
ではないでしょうか。

今後も、この気持ちを忘れず



一人暮らし便利帳

「一人暮らし便利帳」
毎年、卒業式の日卒業生全
員に「一人暮らし便利帳」を配
付しています。これは、親元を
離れて行くわが子を心配する親
の気持ちと、初めて社会に出る
子ども達の不安を少しでもなく
してあげたいことからでき
たものです。

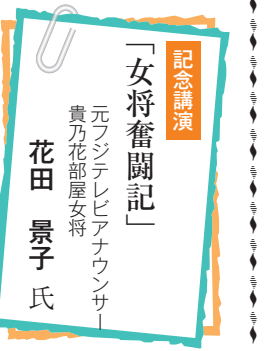
あります文化祭体育祭を総称し、
「若桐祭」が行われます。その
際カレー、焼そば、ジュース等
のバザーを行っています。また
十月には、教育振興会新聞「桐
庭」の発行、そして虹の松原の
清掃活動を行います。十二月は
クラスマッチが行われますので
豚汁をふるまいます。そして三
月に教育振興会新聞第二号を発
行します。



記念講演
「女将奮闘記」
元フジテレビアナウンサー
貴乃花部屋女将
花田 景子氏

宮崎市出身で第六五代横綱貴
乃花と結婚し、現在は「貴乃花
部屋」の女将として、また三人
の子どもの母親として、多忙な
日々を送っておられる景子氏が、
相撲社会に入って驚いたこと、
若い弟子を育てる苦労話、貴乃
花親方の教育論等を披露された。
最後に、DVDを用いて、満
身創痍であった貴乃花が引退を
決めた時のことを熱く語られ
た。

参加者の多くが期待していた
貴乃花親方の「減量」の話が聴
けなかったのが残念であった。



にすべての子どもをわが子と思
い、笑顔を育む活動を続けてい
こうと思っています。そして健
やかに成長していく子ども達を
間近で感じることができると喜
び、子どもと共に悩み苦しむ成長
していく私達保護者自身、全ての
ことに感謝して発表を終わしま
す。